

2015年3月2日

日本ユニシスグループ 日経BP社「第10回クラウドランキング」において、 2部門2サービスが「ベストサービス」に選出

日本ユニシス株式会社（本社：東京都江東区、社長：黒川 茂、以下 日本ユニシス）とユニアデックス株式会社（本社：東京都江東区、社長：入部 泰）の日本ユニシスグループは、日経BP社のIT系 総合メディアである「日経コンピュータ」と「ITpro」が共同で実施する「第10回クラウドランキング」において、本日、2部門2サービスが「ベストサービス」に選出されました。なお、「ベストサービス」選出は、今回で9回連続となります。

今回、「ベストサービス」に選出されたサービスは、以下のとおりです。

クラウド基盤サービス(IaaS^(注1)/PaaS^(注2))部門
「U-Cloud IaaS Select[®]」(日本ユニシスグループ)
(企業向けエンタープライズ・クラウドサービス)

特定業種業務向け SaaS^(注3)部門
「TRADEBASE[®] for FX」(日本ユニシス)
(外国為替証拠金取引(FX)市場向け SaaS 型インターネット取引システム)

各サービスの概要

「U-Cloud(ユークラウド) IaaS Select」

企業情報システムの基盤となるサーバー、ストレージ、ネットワークリソースを「必要な時に、必要なだけ」利用していただく企業向けエンタープライズ・クラウドサービスです。2008年10月から提供している「U-Cloud[®] IaaS」のサービス体系を刷新し、お客さまのニーズに合った、サービスレベル指向型の選べるクラウド「U-Cloud IaaS Select」の提供を、2014年11月から開始しました。

「TRADEBASE(トレードベース) for FX」

日本ユニシスが独自開発した金融商品の総合的なトレーディング基盤「TRADEBASE」を SaaS として展開しています。急激な取引量増加にも耐える安定的な処理性能に加えて、スマートフォンやタブレットなど取引チャネルの多様化にも対応できる標準的なインターフェースを備え、お客さまが独自サービスを提供しやすいサービス設計になっています。

第10回クラウドランキングの概要

ベストサービスはベンダー243社に依頼したアンケート調査から、クラウド関連サービスの仕様を詳しく調べた結果に基づいて選びました。評価は「クラウドらしさ」と「既存システムからの移行のしやすさ」「情報公開の程度」などを重視して一定の基準で実施しました。「ベストサービス」には クラウド基盤サービス(IaaS/PaaS)、汎用業務系 SaaS、汎用情報系 SaaS、特定業種業務向け SaaS、パブリッククラウド導入支援サービス、プライベートクラウド構築支援サービス、データセンターの7部門で39サービスを選出しました。<詳細 : <http://nkbp.jp/1F0ty3f>>

以上

注1:IaaS (イアース:Infrastructure as a Service)

コンピューターシステムを構築および稼働させるための基盤(仮想マシンやネットワークなどのインフラ)そのものを、インターネット経由のサービスとして提供するものです。

注2:PaaS (パース:Platform as a Service)

アプリケーションの開発・実行に必要な環境や機能(メールサーバーやユーザー管理機能など)をサービスとして提供するものです。



注3：SaaS（ソース：Software as a Service）

ネットワークを介したオンラインサービスで、お客さまが必要とする機能だけを利用し、それに応じた分の料金を支払うソフトウェアの利用形態のことです。

* 関連 URL：

「U-Cloud IaaS Select」

http://www.unisys.co.jp/services/ict/iaas_feature.html

「TRADEBASE for FX」

<http://www.unisys.co.jp/solution/tradabase/fx/>

* U-Cloud、U-Cloud IaaS Select、TRADEBASE は、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

* その他記載の会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。